

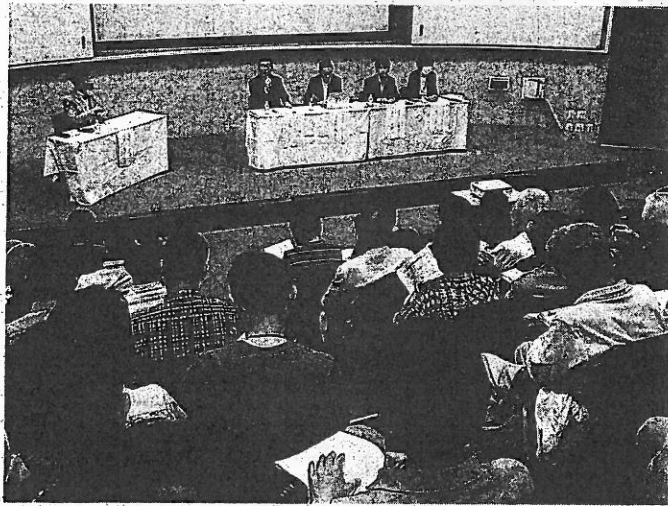
# 宇治市 公共施設シンポジウム

## 市民と一緒に未来へ投資

### 人口減少で 民間活力の積極活用を 集約等検討

宇治市は3日、公共施設シンポジウムを市生涯学習センターで開き、約120人が明るい未来に向け、認識を深めた。人口減少時代に突入し、市は公共施設の「更新・統廃合・長寿命化」の基本方針を定めようとしているが、シンポジウムを通じて、決して「暗い話」ではないことを強調。民間活力の積極的な活用などが紹介され、山本正市長も前向きな姿勢を見せた。

市の公共施設は現在279施設あるが、学校を中心に順次、更新時期を迎える。人口減少、少子高齢化の中で、全施設を維持することは財政的に困難。市は将来を見据え、市民や利用者の声を聞きながら、公共施設等総合管理計画の策定作業を進めている。



約120人が訪れた公共施設シンポジウム

### 「公共空間の場」民間で

#### 先進地、行政の限界指摘

策として▼建物総量の圧縮複合、共有、多機能▼新しい財源の創出▼建物の長寿命化の3点を紹介。山田課長は「暗い話ではない。先を見据え、二一歩を踏まえたまちづくりが必要」と強調した。

第3部では「子どもや孫の世代に胸を張って引き継げる公共施設のあり方」をテーマにパネルディスカッションを開催。川勝准教授がコーディネーターを務めた。

日本PFI PPP協会の寺沢弘樹業務部長は、大阪城公園(大阪市所有)では内壕を巡る観光船により年間2億円以上の収入があり、岩手県紫波町は図書館建設予定地(町有地)の開発を民間に委ねることで独立採算の図書館を実現したことを紹介。「ゆめりあうじは駅前の一等地にあり、官民連携で色々な可能性がある」と指摘した。

先進地である千葉県習志野市の早川誠貴資

いる。私は公務員(千葉県流山市)時代、上司から「公は弱者を助けるもの」と言われたが、それにはお金がいる。インフラ資産を、徹底的に使う。そのノウハウは行政にはない」と反論した。

森教授は「行政が『えっ、そんなことでいいのか』というアイデアを受け入れることが大事」と意見した。山本市長は、ダイナミックに民間に移す勇気が必要。集会所は、いつまでも市で運営するのか、改めての検討が必要」と表明。寺沢部長は「公務員時代に『市の土地、建物を使った提案を』と事業者呼び掛け、6件で事業化できた。まず市場を探ることが大事」と訴えた。

早川主幹は「暗い未来ではなく、明るい未来を一緒に作っていく。今の建物を建てる時、ワクワク感があった。それと同じ」と強調。川勝准教授は「民間活力を使えば、色々な可能性が広がる」と求め、山本市長は「頭を、さらに柔軟にして進めたい。計画で決めたことを、みんなで行って初めて成功。市民の皆さんと一緒に考えていく」とま

た。なお、市は11日の総合管理計画検討委員会で、計画初案(案)を示す。

第1部 基調講演では、川勝健志府立大准教授が「みんなで作る公共施設の未来」をテーマに話を展開し、「公共施設の価値は古くなってきた、立地が不便というだけでなく、住民との関わりの中で、評価されるべきもの。総量が減っても、質を上げていく」と機能維持の必要性を説明。その上で「過去の資産のたまたま方を考えるだけでなく、未来への投資の在り方を考える取り組み。事業者、移住者、女性、若者、高齢者、障害者など色々な立場の人が関わることが大事」と訴えた。

第2部では、山田雅彦・市行政経営課長が、人口減少で納税者が減る一方、高齢化で社会保障費が増加し、公共施設に回す財源が少ない点などを報告した。対

な。市は11日の総合管理計画検討委員会で、計画初案(案)を示す。

# 山城



## 公共施設の在り方探る

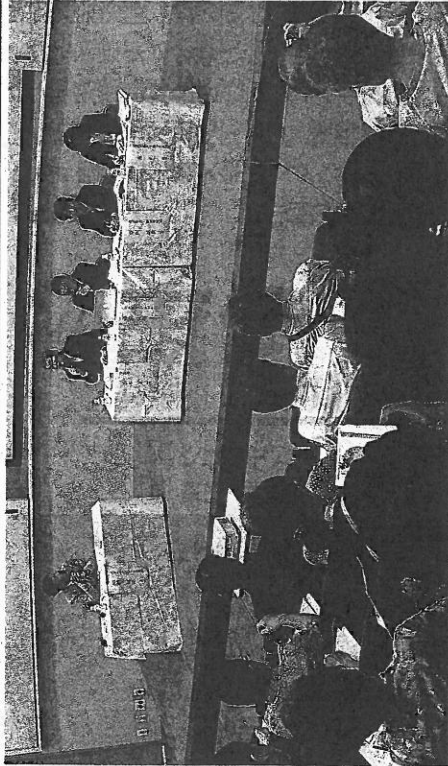
統廃合、民間活用を見据え

### 宇治 市長や学識者らシンポ

食館など身近な公  
共施設の在り方を考え  
るシンポジウムが3  
日、宇治市宇治の市生  
涯学習センターで開か  
れた。山本正市長と大

学教授らが統廃合や民  
間活用を見据え、活発  
に意見を交わした。  
人口減少を踏まえた  
「公共施設等総合管理  
計画」の策定を前に

市が主催し、市民や関  
係者約120人が参加  
した。  
討論では、日本P  
I・PPP協会の寺沢  
弘樹業務部長が「お金



今後の公共施設の在り方について意見を交わす参加者  
(宇治市宇治・市生涯学習センター)

を調達するノウハウが  
ある民間との連携が必  
要ではないか」と指摘  
した。京都文教大の森  
正美教授は統廃合の判  
断について「老朽化、  
稼働率など数値だけで  
なく、どういった居場所  
として捉えられている  
か、踏み込んで分析す  
ることが大事だ」と話  
した。

山本市長は「より充  
実し、使いやすい公共  
施設にするため、民間  
の力が必要であれば、  
活用に向けて努力した  
い」とまとめた。

(杉原慶子)